



ミンダナオデー

「世界の貧困 考えよう」わたしたちができること」というメインテーマのもと、「ミンダナオデー」という催しを教会と幼稚園で行った。内容は「子どもとともに世界の平和を祈るミサ」、「ミンダナオ支援バザー」そして世界の現状を見つめるコンサート「地球のステージ」。

当日は第43回「世界広報の日」。今年のテーマは「新たな技術、新たな関係。尊敬、対話、友情に基づく文化の促進」だった。そのテーマについての教皇メッセージが出された。教皇メッセージは全世界の信者に向け

て出されているが、どのくらいの人を読んでいるだろうか。そのようなメッセージが出されていることさえ知らない人が多いのではないだろうか。

たとえば、新年のメッセージ。元旦は世界平和祈願日。この日も毎年教皇メッセージが出される。今年のテーマは「貧困と闘い、平和を築く」だった。教皇は折りからの経済不況をつぶさに分析してその原因を的確に示し、イエスの「あなたが与えなさい」という言葉に従うことで平和が築かれると説く。このテーマはそのまま今年の小教区の

テーマとなった。



平和祈願ミサに参加された松居さん(右)と桑山さん

教皇メッセージはときとして長い文章であるので好んで読まれることは少ない。しかし、

「今」を生きる信者にとっては貴重なメッセージである。キリストの福音に基づいて現代社会をどのように見るのか、そして、キリスト者としてどのように生きるのか、が示されている。

「新たな技術、新たな関係。尊敬、対話、友情に基づく文化の促進」。今年の世界広報の日のテーマは「ミンダナオデー」にふさわしいテーマでもあった。

二〇〇五年の小教区創立五十周年を機に、世界の貧しい人たちに心を向け、わたしたちができることをして行こうという機



やまもと まこと
 山元 眞 神父

運が高まった。その頃からポリビアとフィリピン・ミンダナオ島への支援が始まった。ここをを外へ向けると不思議と内が充実してくる。自分のことばかり

考えていては自己実現ができない。一人ひとりとは独りで生きているのではなく、人とつながって生きている。そのつながりに限界はなく、果てしなくつながり、拡がっていく。そのことに気づくとき「命」が輝き、生き生きとしてくる。支援は義務だからするのではない。自分が人とつながり、支えられていることに気づくとき、自然な流れとして「命」がつながっていく。充分なところから不足しているところへ自然に流れていく。つながっているから…。

「わたしにつながっていないさ」とイエスは言った。すべてが、皆がイエスに、そして神につながっている。このことはわたしたちの信仰であり、その信

仰から愛が出てくる。義務だから、掬だから愛するのではない。神が、このわたしを愛しているということを感じるから人を愛する。



《地球のステージ》を終え、東ティモールに旅立つ桑山さんを送る

「新たな技術は新たな関係を生む」。インターネットやメール、それによって伝えられる映像は新たな関係を生む。これらの最新技術は人間の理解と連帯を促す。ミンダナオ島から松居友さんが来てくれた。紛争や災

害で傷ついた人々たちを支援する医師、桑山紀彦さんが来て《地球のステージ》を公演してくれた。「新たな技術」で二人は世界の現状を見せてくれた。映像と語り、音楽で…。知ることによって対話が生まれ、尊敬が生まれ、友情が生まれる。

最近「洗礼を受けていない信者」という言葉を使うことが多い。そのような人が多い。桑山さんもそうだ。

すべての人が唯一の神の子であるならば、すべての人は命の源である神とつながっているであり、皆はひとつの「命」、「人類」である。

この教会はいつのまにか自然にイスラムの人とつながっている。

【教会ホームページ】

[http://www.](http://www.yukuhasi.catholic.ne.jp/)

[yukuhasi.catholic.ne.jp/](http://www.yukuhasi.catholic.ne.jp/)

【ブログ】

<http://micheleyam.exblog.jp>



株式会社 吉本洋紙店

本店 〒104-0041 東京都中央区新富2-7-4

厚木支店 〒243-0807 神奈川県厚木市金田1017

☎03(3551)4141(代)/2143 FAX03(3551)3939

☎046(223)6931 FAX046(223)6930